

4月13日 経済水道委員会（江上ひろゆき・西山あさみ議員）



名古屋ボストン美術館 2019年3月閉館

税金投入するも赤字改善できず

4月13日の経済水道委員会で、名古屋ボストン美術館が赤字のため2019年3月で閉館されると報告されました。

財界の強い要請で設立

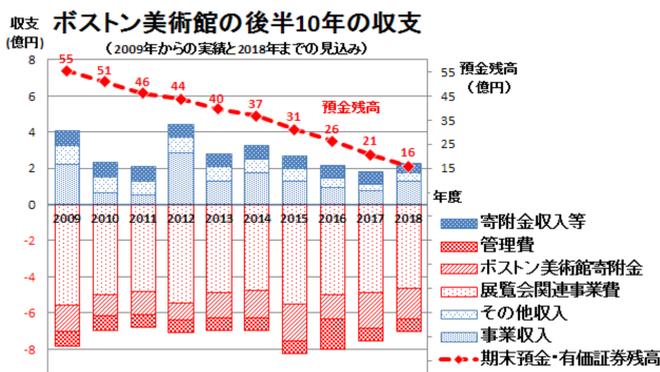
名古屋ボストン美術館は名古屋商工会議所（名商）が中心になり、県市が基本財産2億円・経営安定化基金30億円、財界が同2億円・44億円（その後31億円追加）を負担して設立されました。ボストン美術館から借りた作品以外は展示できないシステムで、名商・県市に展示品の選定権はありません。

赤字で県市基金30億円を取り崩す

開館当初を除き、入場者数は予想の1/2の16万人前後で推移し赤字が深刻化。加えて、アメリカボストン美術館に20年間合計5千万ドルの寄付なども行い、開館10年で財界拋出の運営資金が底をつきました。存続のため契約を変更した後は、県市基金30億円から12億円を取り崩して運営してきました。

反省点を教訓化

西山あさみ議員は「国民の財産である県市基金を切り崩してでも運営すべきだったか」と質問。当局は「結果としては反省すべきものだった」と答えました。江上ひろゆき議員の「過大な需要予測の原因解明と反省が必要。名古屋城天守閣木造復元への教訓にすべき」との追及に対しては「文章で記録にしたい」と応じました。



名古屋ボストン美術館の経緯

年月	項目
1991年10月	名古屋商工会議所から設置場所の協力依頼
1991年11月	名古屋商工会議所内に「名古屋ボストン美術館設立準備委員会」
1993年10月	名古屋商工会議所及び準備委員会から名古屋市・愛知県に設立への財政支援の要請
1995年3月	名古屋市会が、運営財団の基本財産及び運営安定化基金への出損金予算を議決
1995年11月	財団法人名古屋国際芸術文化交流財団の設立（財団）
1995年12月	財団と米国ボストン美術館で、名古屋ボストン美術館の設立契約を締結
1996年1月	財団と名古屋市中で、経営安定化基金に関する覚書を締結
1999年2月	財団と名古屋市中で、公有財産有償貸付契約を締結
1999年4月	名古屋ボストン美術館開館
2006年2月	名古屋商工会議所及び財団から名古屋市・愛知県に、運営への財政支援の要請
2006年3月	財団と米国ボストン美術館の間で、名古屋ボストン美術館の運営に関する契約書を締結
2006年5月	財団と名古屋市中との間で、名古屋ボストン美術館の運営に関する覚書を締結
2011年4月	公益財団法人へ移行

名古屋ボストン美術館の運営

運営団体	公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団
県・市の負担	基本財産：4億円のうち、県・市各1億円 経営安定化基金：30億円（県・市各15億円）
経済界の負担	基本財産：4億円のうち、2億円 運用財産：110億円 当初 44億円 追加 31億円 再追加 35億円
契約期間	2019年3月31日までの20年間
事業内容	①名古屋ボストン美術館の運営を通じて、愛知県民に米国ボストン美術館の世界的コレクションや国内美術館の名品を鑑賞する機会を提供する事業 ②愛知県民に対して国際的な芸術文化に接する機会を提供する事業 ③愛知県の地味文化の振興を図るため、シンポジウム、講演会等を開催する事業 ④その他この法人の目的を達成するために必要な事業

名古屋ボストン美術館の運営に関する覚書（2006年5月）

- ①経営安定化基金を取り崩す場合、限度額は10億円
- ②取り崩しは運用財産を先に充当する
- ③企画展は、市民ニーズを踏まえ展示のテーマ及び作品を決めるとともに、多くの来場者につながる展示の工夫をする
- ④新たな財政上の支援要請があっても行わない

米国ボストン美術館

Museum of Fine Arts, Boston
創設：1870年
開館：1876年7月4日
コレクション総数：約45万点

